

## 国際化学肥料ニュース（2024年7月）

### 肥料業界の2024年7月動態

- \* 7月8日、インド IPL 社の尿素国際入札開札の結果、19社が応札して、応札量が東海岸向け124万トン、西海岸向け144万トンの268万トン。最低応札価格は Liven 社の CFR 西海岸 350.5 ドル/トン、オマーン OQ Trading 社の CFR 東海岸 365 ドル/トンである。応札価格が予想より高く、インド側は購買数量を控える可能性が高い。
  
- \* アラブ首長国連邦の FertiStream 社はアフリカのトーゴ共和国に新設された BB 肥料配合工場を所有する Nutrisource PTE の株式 100% を購入する契約を締結したことを発表した。当該 BB 配合工場は西アフリカの Lomé 港の北 22km に位置して、混合、袋詰め、輸送設備を専門とするオランダの企業 EMT によって設計され、年間最大 20 万トンの生産能力を持ち、この地域で需要のあるリン酸含有量の高い NPK を含む肥料ブレンドを生産できる。配合設備のほか、6 万トン原料倉庫、3 万トン製品倉庫および品質管理研究所を備えたこの工場は、2024 年第 4 四半期に稼働し、西アフリカに高品質の肥料を安定的に供給する役割を果たす。
  
- \* フィリピン農業省はベトナムの化成肥料メーカー Binh Dien 社と化成肥料の輸入と国内生産に関する協議を始めた。Binh Dien 社はベトナム最大の化成肥料メーカーで、年間生産能力 100 万トン、ベトナム国内化成肥料約 30% のシェアを持つ。フィリピンは中国輸入化学肥料への依存度を下げるために、Binh Dien 社の化成肥料輸出を歓迎するほか、フィリピンに進出して化成肥料工場を建設することを望んでいる。  
今年1月、フィリピンとベトナムはベトナム産コメに年間 150~200 万トンの輸入枠を 5 年間に設けることを合意し、上半期だけですでに 171 万トンベトナム産コメを輸入した。
  
- \* 7月9日、中国側はロシア Uralkali 社の中東ドバイにあるダミー会社との間に 2024 年度の塩化加里輸入基本契約を締結した。基本契約では塩化加里の CFR 価格を 273 ドル/トンにして、前年の 307 ドル/トンより 34 ドルも下がった。しかし、ほかの加里大手はこの価格を元に中国側と基本契約を結ぶかは不明である。
  
- \* 7月10日、インド国営加里商社 IPL 社は主要加里メーカーとの間に 2024 年度上期の塩化加里輸入基本契約を締結した。塩化加里の CFR 価格 279 ドル/トン、有効期限 2024 年 12 月 31 日までという内容である。この価格は前期の輸入基本契約より 40 ドル

／トン下がったが、前日（7月9日）に中国とロシア Uralkali 社との間に締結した 2024 年度塩化加里輸入基本契約と比べて、6 ドル高くなっている。

\* バングラデシュが行った 50 万トン DAP の国際入札は開札の結果、13 社が応札して、応札量 39.4 万トン、応札価格 CFR645～695 ドル／トン。国際市場孟加拉招标最終確定 28 万吨，部分国内企業中标，据悉出口离岸价上行至 560-580 美元/吨 FOB 附近。

同時に行った 25 万トン重過りん酸石灰の国際入札には 7 社が応札して、応札価格 CFR645～950 ドル／トン、応札量 6.55 万トンしかなかった。そのうち 3 社がモロッコまたはレバノンの貨物で、残りは中国の貨物である。

\* 7 月第 1 週（1～7 日）の尿素国際相場は安定している。市場はインド IPL 社の尿素国際入札の結果を待つほか、アメリカの独立記念日などもあり、バイヤーは静観の姿勢を取っている。東半球では尿素的需給が依然不足して、サウジアラビアの FOB 価格が 350 ドル／トン台に維持して、インドネシア Kaltim 社は大粒尿素的販売入札を行い、7 月 5 日に締め切り、1 社は 2 万トンのインドネシア小粒尿素的をスリランカに販売した。

西半球では、エジプト政府は 7 月 2 日から尿素メーカーに天然ガスの供給を正常化した。アルジェリアはエジプト尿素的の減産を利用して、FOB380 ドル／トンの最新価格を要求しているが、買手の動きがなく、CFR ブラジル価格が 355～370 ドル／トンで安定して、FOB アメリカ Nola の価格が 288～302 ドル／ショートトンに小幅下がった。

\* エジプトは 7 月 2 日から尿素工場向けの天然ガス供給を正常化した。5 月 20 日以降、エジプトは夏季の電力供給のため、天然ガスを発電用に最優先にして、尿素的生産向けの供給量を 2 回も削減した。そのため、エジプトの尿素メーカーは軒並みに減産か生産中止に追い込まれた。エジプトの Madbouly 首相は 6 月 25 日に今年夏の電力安定供給のために 11.8 億ドルの天然ガスと燃料油類を輸入すると発表した。

\* インドネシア政府は 2024 年度に肥料補助金として 14 兆インドネシアルピア（約 8.89 億ドル）の予算を確定した。また、政府のエネルギーと鉱産資源大臣 Arifin Tasrif 氏は尿素的生産に必要な天然ガスを全量供給することを約束した。

\* 7 月第 2 週（8～14 日）の尿素国際相場は安定している。東半球では 7 月 8 日インド IPL 社の尿素的国際入札の開札結果を受け、相場がほとんど変動していない。7 月 11 日カタールの小粒尿素的の販売入札には FOB350 ドル／トンで 3 万トンを契約した。また、7 月 5 日に締め切ったインドネシア Kaltim 社の大粒尿素的販売入札には FOB366 ドル／トンで 30 万トンも契約した。一方、西半球では相場が低迷する。主な理由はナイジェリ

ア Dangote 社が FOB330 ドル／トンでブラジルに大粒尿素を輸出するニュースが広がり、相場を押し下げた。週末の大粒尿素の CFR ブラジル価格が 355～365 ドル／トン、FOB アメリカ Nola 価格が 288～298 ドル／トンに下がった。

\* 中国税関の速報によれば、2024 年 6 月中国化学肥料輸出量が 4.6%増の 296 万トン。その内訳は硫安 124 万トン、尿素 7 万トン、DAP48 万トン、MAP32 万トン。1～6 月の上半期の化学肥料輸出量が 0.8%減の 1261 万トン。その内訳は硫安が 12.8%増の 654 万トン、尿素が 86.2%減の 14 万トン、DAP が 37.3%減の 151 万トン、MAP が 0.8%増の 93 万トン。

一方、6 月の化学肥料輸入量が 21.5%減の 95 万トン。その内訳は塩化加里 84 万トン、NPK 化成肥料 10 万トン。1～6 月の上半期の化学肥料輸入量が 19.0%増の 718 万トン。その内訳は塩化加里が 23.3%増の 643 万トン、NPK 化成肥料が 0.5%減の 63 万トン。

\* インド IPL 社の尿素国際入札の購買数量が判明した。最終的に東海岸向けに 35.4 万トン、西海岸向けに 8 万トンの計 43.4 万トンを契約した。中東の尿素メーカーは軒並みに CFR 西海岸の 350.5 ドル／トンを拒否して、逆に CFR 東海岸 365 ドル／トンに応じた模様。今回の入札には中国品の契約がなく、ロシア品が 2～3 船の契約に留まった。

\* インドの CIL 社 (Coromandel International) はカナダの Canpotex 社との間に 2024 年上半期の塩化加里輸入基本契約を締結した。塩化加里の CFR 価格 283 ドル／トン、有効期限 2024 年 12 月 31 日までという内容である。この価格は先週インド国营 IPL 社と加里大手との基本契約より 4 ドル／トン高くなっている。CIL 社は民営企業で、インドに主に農薬の製造販売を行い、インド第 2 位のリン酸肥料の製造・販売会社でもある。昨年度 CIL 社はカナダから 41.6 万トン塩化加里を輸入した。

\* エジプトは夏季発電用天然ガスの不足で、7 月中旬から再び尿素工場向けの天然ガス供給量を削減した。天然ガス不足の理由で、7 月 16 日に Kima 社のアスワンにある 57 万トン大粒尿素工場と Helwan 社の El-Tebbin-Helwan にある 65 万トン大粒尿素工場、Abu Qir 社の 57.8 万トン小粒尿素工場の生産を一時に中止した。7 月 17 日にその中の 2 工場が稼働を再開した。ほかに Mopco 社の 3 つの尿素工場と EFC 社の尿素工場はそれぞれ 20%減産している。生産量の削減により、7 月下旬～8 月上旬船積みの尿素は FOB 380～390 ドル／トンを要求している。

\* ノルウェー Yara 社はイギリス ATOME PLC 社がパラグアイに建設予定の Villeta 工場から生産されるグリーン硝酸アンモニウムカルシウム (CAN) の全量引き取り基本契

約を結んだと発表した。ATOME PLC 社はパラグアイの国営電力会社 ANDE から 145MW の再生可能な電力を購入し、Villeta 工場に年間最大 26.4 万トン硝酸カルシウムアンモニウム(CAN)肥料を生産し、年間最大 50 万トン CO2 排出量を削減することができる。Villeta 工場は 2024 年に建設を開始し、2027 年に稼働する予定である。

- \* 中国はイスラエルの ICL 社と 2024 年塩化加里輸入基本契約を締結した。輸入価格は先週に締結したロシア Uralkali 社の基本契約と同じ CFR273 ドル/トン、最大輸入量 84 万トンである。
  
- \* 7 月第 3 週 (15~21 日) の尿素国際相場は地域により動きが異なる。東半球ではインド IPL 社の尿素国際入札結果とエジプトの尿素減産を受け、中東産尿素が小幅に上がった。西半球では、アメリカは春シーズンを過ぎ、肥料の需要が一段落して、ブラジルも需要期に入っていないため、様子見のバイヤーが多く、市場が落ち着いて、相場が安定している。
  
- \* 7 月の国際アンモニア相場は地域により大きく動いている。西半球では、エジプトとトリニダードの天然ガス不足により減産されたことで、アメリカのベンチマークが CFR475 ドル/トン、北西ヨーロッパがスポットの CFR510 ドル/トンに大幅にあがった。8 月のタンパ契約が 7 月より 60 ドル高い価格で決済された話がある。  
一方、東半球では産業のアンモニア需要が弱いため、価格に下落圧力が生じた。インド東海岸への 2 件の販売と、丸紅による宇部興産のタイ工場向けの 2.3 万トンの販売が確認された。
  
- \* アメリカの Keras Resources 社は自社所有のユタ州の Integrated Delta Processing 施設で有機りん酸肥料 PhoSul® 顆粒の商業生産を開始する。PhoSul®は作物へのリン酸の利用可能性を高めるために特別に開発され他製品で、テストの結果では、ほかのりん酸肥料より大幅な収量と品質の向上が実証されていると言われ、Integrated Delta 施設に年間 8000~10000 トンを生産する計画である。
  
- \* 中国国営五鉍化工輸入輸出商会は 2024 年上半期 (1~6 月) の中国化学肥料輸入輸出データを発表した。2024 年上半期の化学肥料輸出量が 4.6%減の 1188.5 万トン、金額では 29.2%減の 31.3 億ドル。主な品目では、尿素が 86.1%減の 14 万トン、DAP が 37.3%減の 151.2 万トン、MAP が 0.8%増の 93.4 万トン、硫安が 12.8%増の 653.8 万トン、重過りん酸石灰が 118.4 万トン。トップ 5 の輸出先はブラジル、ベトナム、インド、ミャンマ、タイの順である。なお、化学肥料の平均輸出価格が 25.8%減の 263.7 ドル/トンである。

一方、2024年上半期の化学肥料輸入量が20.0%増の727.0万トン、金額では22.7%減の24.6億ドル。主な品目では塩化加里が24.4%増の652.2万トン、NPK化成肥料が0.5%減の62.9万トン。トップ5の輸入元はロシア、ベラルーシ、カナダ、ラオス、イスラエルの順である。

## 大手各社の営業業績

- \* ノルウェーのYara社は第2四半期の業績を発表した。アンモニア生産量が25.4%増の177.7万トン、尿素生産量が10.6%増の114.6万トン、硝酸や化成肥料などの生産量が7.8%増の362.1万トン。販売価格の低下により、売上高が11%減の35億2900万ドルだが、コストの削減などによりEBITDAが103.6%増の5億1,300万ドル、純利益が300万ドル、前年同期の2億9800万ドルの純損失から黒字に回復した。

## 肥料資源の探索と肥料プラント新規建設

- \* フランスのFertigHy社はフランスに初の低炭素肥料工場を建設することを表明した。2027年に着工、再生可能の電力を使って水電解から得た水素を原料にして年間50万トンの低炭素の窒素肥料を生産する。オランダのStamicarbon社とイタリアのNextChem Tech社は共同で実現可能性調査および事前FEED契約を獲得した。
- \* 中国からの情報によれば、2024年上半期に完成予定のいくつかの新規尿素工場が下半期に延期して、下半期に10ヶ所の新規尿素工場が完成・稼働し、尿素生産能力649万トンが増加する見込みである。下表は下半期に完成・稼働予定の新規尿素工場のリストである。

社名	所在地	生産能力	完成・稼働時期
安徽泉盛化工	安徽省定遠県	52万トン	2024年7月中旬
河南晋開延化	河南省延津県	80万トン	2024年8月上旬
陝煤龍華鋁業	陝西省神木市	80万トン	2024年7～8月
山東瑞星	山東省東平県	70万トン	2024年8月
陝西陝化		80万トン	2024年10月
江蘇晋煤恒盛	江蘇省新沂県	60万トン	2024年10月
甘肅劉化	甘肅省永靖県	35万トン	2024年末
山東晋煤日月	山東省済南市	20万トン	2024年未定
新疆新冀エネルギー	新疆鉄門関市	120万トン	2024年未定

- \* ポルトガルのMOTA-ENGIL社は子会社のMOTA-ENGIL MEXICOを通じて、メキシコ国営石油会社Pemexの子会社であるPemex Transformación Industrialと、メキシコベラクルス州に肥料工場を建設する契約を締結したことを発表した。このプロジェ

クトはベラクルス州の Poza Rica に 12 億ドルを投資して、年間生産能力 70 万トンのアンモニアと尿素工場を建設する。

- \* BHP 社はカナダ Saskatchewan 州 Jansen 加里プロジェクトの第 1 段階の建設が 50% 完了し、第 2 段階も進行中という極めて重要な節目に到達したと発表した。BHP は 2021 年 8 月に Jansen 加里プロジェクト第 1 段階 (JS1) に 75 億カナダドル、2023 年 10 月に Jansen 加里プロジェクト第 2 段階に 64 億カナダドル (49 億米ドル) を投資して、総投資額は約 140 億カナダドルになる。これは BHP 史上最大の投資であり、Saskatchewan 州最大の民間投資でもある。当該プロジェクトは、2026 年に最初の生産を開始し、10 年後には年間 850 万トン塩化加里を生産する世界最大の加里鉱山となる。

## その他

- \* サウジアラビアの SABIC Agri-Nutrients 社は、サウジアラビアのジュバイル工業都市に第 6 尿素工場を建設し、年間 1.2 万トンブルーアンモニアと 110 万トン尿素を生産するために必要な天然ガス原料の割り当て承認をエネルギー省から取得したと発表した。
- \* スペインの IGNIS 社とアメリカの投資会社 KKR は合弁会社 IGNIS P2X を設立して、スペインの各地に最大 5 カ所のグリーンアンモニアプロジェクトを展開すると発表した。太陽光発電で得た電力を使って水電解から得た水素を原料にして、グリーンアンモニアを生産する。スペインの Técnicas Reunidas 社はそのエンジニアリングサービスを提供する。
- \* アメリカの Tidal Grow AgriScience 社は、アメリカ農務省 (USDA) から肥料生産拡大プログラム (FPEP) 助成金を獲得したと発表した。Tidal Grow AgriScience 社はこの助成金を利用して、テキサス州に新工場を建設し、ワシントン州の工場も拡張して魚介類加水分解液肥 Oceanic® および SeaPhos® の生産量を 3 倍に増加する計画である。
- \* アメリカの Trammo 社はオーストラリアの Allied Green Ammonia 社 (AGA) との間にオーストラリアに生産されるグリーンアンモニアを全量引き取る覚書を締結した。AGA 社はオーストラリア北部準州の Gove Peninsula に 2,500 トン/日、年間 90 万トンの世界最大級のグリーンアンモニア施設を建設して、2028 年に完成し、稼働する予定である。